▶キリスト教学校教育同盟とは？〈２～３面〉
▶聖書のことば〈２面〉
▶キリスト教学校教育振興助成〈３面〉
▶第65回小学校代表者研修会〈 〃 〉
▶教職員就職支援登録〈 〃 〉
▶公募〈 〃 〉
▶関東学院大学関内キャンパス〈４面〉
▶キリスト教教育者物語〈 〃 〉
▶キリスト教Ｑ＆Ａ〈 〃 〉
▶行事予定〈 〃 〉

キリスト教学校教育

4

2022・2023年度教研テーマ
希望と喜びに生きる―新たな転換期に立つキリスト教学校

（一社）キリスト教学校教育同盟
〒169―0051
東京都新宿区西早稲田２-３-18
日本キリスト教会館72号室
電　話　03（6233）8225
ＦＡＸ　03（6233）8226
理事長　西原　廉太
編集人　田村　浩一
頒価200円（加盟法人の購読料は会費に含まれています）
（毎月１回１５日発行）

〈キリスト教教育〉という「襷（たすき）」をつなぐこと

西原廉太

この４月、全国のキリスト教学校教育同盟加盟校において、新たに多くの教職員のみなさまをお迎えできました。私たちはみなさんを心から歓迎いたします。

キリスト教学校教育同盟の源流は、1910年に発足した「基督教教育同盟会」に遡ります。男子校10数校によって第１回総会が同志社で開催され、初代会長には明治学院長の井深梶之助先生が就任されました。その目的は、国が宗教教育を禁じた法令、「文部省訓令第12号」に対して、キリスト教学校が行動を共にして抵抗し、キリスト教教育を守り貫くことにありました。1922年には、「基督教教育同盟会」と「女子基督教教育会」が合同し、新「基督教教育同盟会」が成立しました。この新しい組織こそが現在の「キリスト教学校教育同盟」の前身となり、したがって昨年は100周年の節目でもありました。

さて、私の属する立教大学は、本年１月２日、３日、箱根駅伝本戦出場が叶いました。毎年優勝争いを繰り広げる青山学院さんとは異なり、実に55年ぶりの出場となりましたので、私も総長として、急遽、現地で応援することとなりました。12月26日には、立教学院のチャペルで、「箱根駅伝出場感謝／ユニフォーム祝福・推戴式／壮行礼拝」が開催されました。礼拝の中で、立教大学の襷と選手のユニフォームが祝福され、私から選手代表に襷を手渡しました。

そして、今回の箱根駅伝では、結果、18位に終わりましたが、往路復路全10区間、この襷は見事に繋がり、ゴールを果たすことができました。実はこの襷には、10名の選手たちだけではなく、部員全63名がサインをした名前が記されていました。箱根路を走った選手たちは、部員全員の思いと、私たちすべての祈りを繋いでくれたのでした。

駅伝は、それぞれの区間は一人で走るという意味では、限りなく個人競技であると共に、襷を繋いで、チームとしてゴールを目指すという点で、完全な団体競技です。みなさんのキリスト教学校もまた、個々の教職員が誠実に教育と学校運営に取り組むと同時に、そのキリスト教に基づく「建学の精神」を先達たちから受け継ぎ、そして未来へと継承していくことによって成立する共同体です。

私たち、キリスト教学校教育同盟も、「基督教教育同盟会」以来、連綿と継がれてきた＜キリスト教教育＞という「襷」を、この時代に受け、次の世代へと託していく者たちの群れです。そして、今、その襷には、みなさんお一人おひとりの名前も刻まれているのです。

〈立教学院院長・大学総長、教育同盟理事長〉

新任教職員の皆さま　ようこそキリスト教学校へ！

東北・北海道地区

≪北海道≫
北星学園（札幌市厚別区）
遺愛学院（函館市）
酪農学園（江別市）
≪青森県≫
弘前学院（弘前市）
東奥義塾（弘前市）
≪岩手県≫
盛岡大学（滝沢市）
≪宮城県≫
宮城学院（仙台市青葉区）
尚絅学院（名取市）
東北学院（仙台市青葉区）
≪山形県≫
基督教独立学園（小国町）
山形学院（山形市）
≪福島県≫
石山学園（会津若松市）
聖光学院（伊達市）

関東地区

≪茨城県≫
茨城キリスト教学園（日立市）
≪群馬県≫
共愛学園（前橋市）
新島学園（安中市）
≪埼玉県≫
聖望学園（飯能市）
浦和ルーテル学院（さいたま市緑区）
≪千葉県≫
三育学院（大多喜町）
聖書学園（八千代市）
東京キリスト教学園（印西市）
≪東京都≫
青山学院（渋谷区）
普連土学園（港区）
自由学園（東久留米市）
女子学院（千代田区）
啓明学園（昭島市）
恵泉女学園（世田谷区）
国際基督教大学（三鷹市）
香蘭女学校（品川区）
明治学院（港区）
日本聾話学校（町田市）
桜美林学園（町田市）
立教学院（豊島区）
立教女学院（杉並区）
立教英国学院（英・ウエストサセックス州）
ルーテル学院（三鷹市）
聖学院（北区）
聖路加国際大学（中央区）
頌栄女子学院（港区）
草苑学園（豊島区）
玉川聖学院（世田谷区）
東京女子大学（杉並区）
東京神学大学（三鷹市）
東洋英和女学院（港区）
≪神奈川県≫
フェリス女学院（横浜市中区）
平和学園（茅ヶ崎市）
聖坂学院（横浜市中区）
和泉短期大学（相模原市中央区）
関東学院（横浜市金沢区）
聖ステパノ学園（大磯町）
捜真学院（横浜市神奈川区）
横浜英和学院（横浜市南区）
横浜学院（横浜市中区）
横浜共立学園（横浜市中区）
横須賀学院（横須賀市）
≪新潟県≫
敬和学園（新発田市）
≪山梨県≫
山梨英和学院（甲府市）
≪静岡県≫
聖隷学園（浜松市北区）
清水国際学園（静岡市清水区）
静岡英和学院（静岡市駿河区）

関西地区

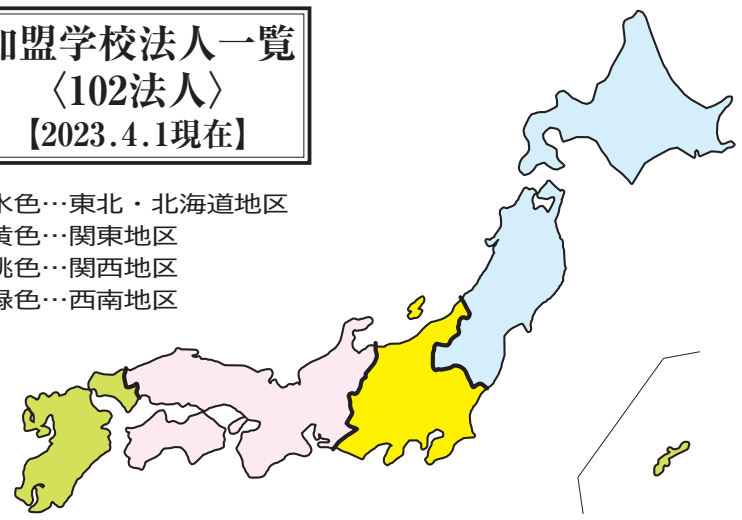
≪石川県≫
北陸学院（金沢市）
≪岐阜県≫
岐阜済美学院（関市）
≪愛知県≫
金城学院（名古屋市守山区）
名古屋学院（名古屋市東区）
名古屋学院大学（名古屋市熱田区）
柳城学院（名古屋市昭和区）
≪三重県≫
愛農学園（伊賀市）
≪滋賀県≫
ヴォーリズ学園（近江八幡市）
≪京都府≫
同志社（京都市上京区）
平安女学院（京都市上京区）
≪大阪府≫
梅花学園（茨木市）
桃山学院（和泉市）
大阪女学院（大阪市中央区）
大阪キリスト教学院（大阪市阿倍野区）
大阪YMCA（大阪市西区）
プール学院（大阪市生野区）
清教学園（河内長野市）
≪兵庫県≫
日ノ本学園（姫路市）
関西学院（西宮市）
啓明学院（神戸市須磨区）
神戸女学院（西宮市）
頌栄保育学院（神戸市東灘区）
松蔭女子学院（神戸市灘区）
夙川学院（神戸市長田区）
八代学院（神戸市東灘区）
≪島根県≫
キリスト教愛真高等学校（江津市）
≪広島県≫
広島女学院（広島市東区）
≪香川県≫
四国学院（善通寺市）
≪愛媛県≫
松山学院（松山市）
松山東雲学園（松山市）
≪高知県≫
清和学園（南国市）

西南地区

≪山口県≫
梅光学院（下関市）
≪福岡県≫
福岡女学院（福岡市南区）
折尾愛真学園（北九州市八幡西区）
西南学院（福岡市早良区）
西南女学院（北九州市小倉北区）
≪長崎県≫
鎮西学院（諫早市）
活水学院（長崎市）
長崎学院（長崎市）
≪熊本県≫
九州学院（熊本市中央区）
九州ルーテル学院（熊本市中央区）
≪沖縄県≫
沖縄キリスト教学院（西原町）

加盟学校法人一覧〈102法人〉【2023.4.1現在】

水色…東北・北海道地区
黄色…関東地区
桃色…関西地区
緑色…西南地区



＊学校法人一覧の（　）内は法人の所在地です

第111回定時総会（6月2日・3日）八代学院（神戸国際大学）で開催

一般社団法人キリスト教学校教育同盟第111回（2023年度）定時総会が6月2日（金）・3日（土）、神戸市東灘区の学校法人八代学院（神戸国際大学）を会場に開催されます（オンライン併用）。主な議題は、2022年度事業報告並びに計算書類の承認及び監査報告、2023年度事業計画、予算報告、欠員理事の選任及び常任理事の選定、公益目的支出計画（助成）に関する報告など。

初日午後は特別プログラムとして講演Ⅰ「キリスト教学校に入学してキリストと出会った私の体験」（名古屋学院大学国際文化学部准教授・黒柳志仁氏）、講演Ⅱ「いのちの深呼吸：園児・児童・生徒・学生・教職員と共に」（日本聖公会信徒・植松功氏）が、第2日には八代学院創立60周年記念礼拝が行われます。

《会場校紹介》

八代学院は1963年、日本聖公会主座主教八代斌助によって設立。同年高等学校（現神戸国際大学附属高等学校）が、1968年に大学（現神戸国際大学）が設置され、「神を畏れ、人を恐れず、人に仕えよ」を建学の精神としています。国際都市・神戸に位置しており、「全人格教育を通じた国際性の涵養」を理念とし、人間性豊かな国際人を育成することを使命としています。

事務局より4月1日付けで加盟各法人理事長宛に開催要項等を送付済みです。
申込締切4月21日(金)

（訂正）
本紙3月号1面加盟校動静欄の四国学院山下慶親氏の理事長退任日は正しくは10月20日でした。お詫びして訂正します。

キリスト教学校教育同盟とは？

今月号では、キリスト教学校教育同盟について、新任教職員の皆様にも理解いただけるようご紹介いたします。ぜひご一読ください。なお、掲載されている行事には、新型コロナウイルス感染拡大のため、2020年以降は中止されているものがあります。

教育同盟のあゆみ

幕末から明治初期にかけてキリスト教学校が次々に創立し、日本の教育の重要な柱となりました。しかし、１８９９（明治32）年に発令された文部省訓令第12号によって、キリスト教学校は宗教教育を禁止され、その存立を脅かされる状況となりました。キリスト教教育を続ける場合は「各種学校」扱いとなり、上級学校への進学や徴兵猶予の特権を失うこととなってしまうのです。この状況に対して、「基督教主義学校に共通なる諸問題を研究し、其進歩発達を計り、必要の場合には共同の行動を執る」ことを目的に、１９１０年にキリスト教男子学校10数校が「基督教教育同盟会」を組織しました。13年には、20数校の女子校が「女子基督教教育会」を組織、22年、この２つの会が合同して「基督教教育同盟会」となりました。

発足当初より、各加盟校相互の連絡協力をはじめ、キリスト教教育に関する調査研究ならびにその促進、教科書の編集、国内における対外折衝ほか、さまざまな事業が行われてきました。１９５０年頃に地区ごとの協議会や、教育研究委員会、広報委員会が組織化されての活動を始め、同時期に名称も「基督教教育同盟会」から「基督教学校教育同盟」へ改められて、新規約が整えられました。１９７１年には財団法人キリスト教学校教育同盟維持財団設立が認可され、その後40年以上、加盟校の経営を財政的に支える役割を持つことになりました。また、財団設立に伴い、名称表記の「基督教」が「キリスト教」に改められています。

２０１４年10月15日付けで、それまでの任意団体から、その使命と責任をより明確にするために「一般社団法人キリスト教学校教育同盟」に移行しました。さらに２０１５年６月12・13日に聖隷学園で開催された第１０３回定時総会において、一般社団法人キリスト教学校教育同盟と一般財団法人キリスト教学校教育同盟維持財団が合併、現在に続く「一般社団法人キリスト教学校教育同盟」として出発し、２０２０年に設立１１０周年を迎えました。

《教育同盟からの呼びかけ》

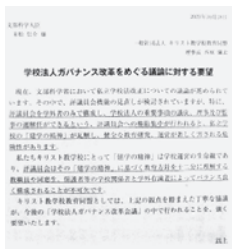
近年では機関紙で以下の呼びかけや表明がありました。

○「救援募金」の呼びかけやお祈りカードのご案内
阪神淡路大震災（１９９５年）、東日本大震災（２０１１年）、熊本地震（２０１６年）

○「今、この時に私たちが大切にしたいこと―多様性の尊重と共生をめざして―」（理事会名・２０１９年）

○「学校法人ガバナンス改革をめぐる議論に対する要望」（理事長名・２０２１年）

新聞21年11月号文部科学省の私立学校法改正の議論における評議員会機能見直しへの要望書を提出


学校法人ガバナンス改革をめぐる議論に対する要望

設立の目的

○全国のキリスト教学校が情報交換をし、協力関係を結ぶことで、互いにキリスト教教育の向上を目指す。

○加盟校に共通する問題を共有し、教職員の研修等を通して解決や改善策を模索する。

加盟校（２０２２年）

１０２学校法人が加盟、児童生徒学生数約34万人、教員および専任職員数約４万人

決議機関

定時総会（毎年１回６月開催）および理事会（例年５回）

全国委員会など

委員会担当理事や地区の加盟校から選出された全国委員で構成。

◇教育研究委員会
（大学部会・中高部会・小学部会・聖書科部会・事務職員部会・教職員後継者養成部会）
◇広報委員会

地区協議会

東北・北海道地区（13法人）／関東地区（47法人）／関西地区（31法人）／西南地区（11法人）。地区協議会は各地区代表理事のもと、地区協議会総会を開催。

主な全国的活動

定時総会（６月開催）

会員（加盟校）の代表者ほかの出席者が集まり、前年度活動報告と承認、次年度活動計画の報告等がなされるほか、講演など特別プログラムを実施。

＊今年度会場校：八代学院（１面参照）。総会の開催にご協力くださいます。

学校代表者協議会（11月開催）

各法人・学校の代表者向けの研修会という位置づけで、学校運営を経営と教学の両面から具体的に考えていきます。講演や討議を通じ、必要なことや決断すべきことを協議し、代表者間で情報を共有しながらキリスト教学校の新しい方向性を打ち出します。

教育研究委員会各部会と活動

加盟校から選ばれた教員・職員による委員で構成された６つの部会の中に各種実行委員会を設置し、様々な研修や集会を企画・開催。２年に一度、全国委員会で教研テーマが決められ、各部会での研修もそのテーマをもとに準備されます。

教研委員会の各部会で企画された研修会や会議を通して、全国の同じ職域の教職員が集い、課題に向き合い、交流を深めます。職域や勤続年数などにより参加者に合った様々な研修会を設定。日々の慌ただしい職場から一時的に離れて、同職種の方々とともにそのグループに適したテーマを通して考え学び、そこで吸収したことが日々の業務の中で活かされることを目指しています。

◇大学部会
・大学新任教員研修会
・大学部会研究集会
・キリスト教看護教育推進会議
◇中高部会
・中堅教員リトリート（節目研修）
・中高研究集会
◇小学部会
・小学校代表者研修会
◇聖書科部会
・全国聖書科研究集会

2022聖書科研究集会

◇事務職員部会
・事務職員夏期学校（入職１年～数年目の職員が対象）
・中堅事務職員リトリート（在職15年前後の職員が対象）
・全国事務局長・事務長会議
・キリスト教活動担当事務職員研修会（宗教センター等に所属の担当者だけでなく、キリスト教教育活動を担当する方はどなたでも参加いただけます。）
・本部・地区事務局会議
教育同盟事務局と地区協議会事務局の担当職員が情報交換・協議を行います。

◇教職員後継者養成部会
キリスト教学校で働くことを希望する学生たちがキリスト教学校について学ぶ場です。キリスト教学校で働く意義や学校紹介のガイダンス、また小中高の学校を訪問し体験・見学をする機会もあります。地区の学生とつながる活動のため、各地区の教職員後継者養成部会が中心となってガイダンスや講座が計画・実施されています。
・新入生ガイダンス
・教職員志願者ガイダンス
・養成講座
・学校見学会
・オンラインによる配信

広報委員会

各地区で選ばれた全国委員会と、関東地区の加盟校からの実務委員会で活動。新聞の編集には主に実務委員会が携わっています。
・機関紙「キリスト教学校教育」発行（年10回）
・ホームページ管理

新規継続事業

◇全国災害支援連絡会議
東日本大震災後に立ち上げられ、自然災害が起こった際どのように児童生徒学生の命を守り、加盟校間で連携して危機対応するかということを目的に、各地域の災害特性や防災についての学びと交流を続けています。

◇教育者支援ネットワーク
教育問題等に悩む教員を支援するために、その支援方法や態勢を検討する委員会。夏の「リフレッシュ合宿」は10数名の少人数で行われ、教育経験豊かな委員とカウンセラーがチームを組み、参加者が共に講演を聴いたり、ゆっくりと経験を共有したりと、リラックスできる場を提供し、合宿後、参加者が教育の業に活き活きと自信をもって励んでいけるようにしていくことを目指します。

◇学内教職員研修会講師派遣制度
各校が開催する学内研修会で、教職員がキリスト教教育や建学の精神への理解を深めるための講師派遣制度。各校研修会のテーマにふさわしいキャリアの講演者を、教育同盟が費用負担をして派遣します。本紙３月号の１面主張欄に詳しい説明があります。

（３面につづく）

《夏期行事》

かつて７月には、教員向けの「夏期研究集会」と職員向けの「夏期学校」が御殿場の東山荘で１週間に亘り行われていました。２０１４年からは教員向けは対象者を絞ったいくつかの研修に分けられ、各部会の中で実施されています。「夏期学校」は現在も職歴の短い職員の研修会として７月に行われています。

２０１９夏期学校

聖書のことば

土台を据える

岡田　朋記

「そこで、私のこれらの言葉を聞いて行う者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ている。雨が降り、川が溢れ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。私のこれらの言葉を聞いても行わない者は皆、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に似ている。雨が降り、川が溢れ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れて、その倒れ方がひどかった」

（マタイによる福音書７章24～27節）

十字架で死なれたイエス・キリストの復活を祝うイースター、おめでとうございます。新年度、入学・進級、就職・任用に伴い、新たな気持ちで、新たな環境で、新たなことを始める方も多いと思います。何かを始めるにあたり、私たちは、何をその基礎、土台とするべきでしょうか。

冒頭の聖書のことばは、イエス・キリストが語られた「山上の説教」の末尾の部分です。注目したいのは、岩の上にも、砂の上にも、どちらにも家は建ったという点です。地上の、目に見える部分は、同じように見える。いやむしろ、砂の上に家を建てた人は、基礎工事に時間がかからず、竣工が早かったのではないでしょうか。

一方、岩を土台として家を建てた人は…地面の下に隠れている硬い岩を掘り出し、柱を立てるために穴を空ける。そのような努力によって据えられた土台は、建てられた家に覆われて、見えなくなってしまいます。

しかしひとたび、雨が降り、川が溢れ、風が吹いて家に打ちつけると…困難の時こそ、目に見えない基礎、土台にどれほどの時間と労力をかけたか、その結果があらわになるのです。

地位や名声、成功や収入といった、目に見える、測ることができるものを評価の基準とすることが当たり前の昨今。就職活動、学校・大学の入学試験でも、「目に見える成果」を求める、求められることが多いのかもしれません。しかし、私たちが働くキリスト教学校では、目に見えない部分こそ大切にしたい。本当の賢さとは何か、聖書のことばを聞き、行うことを土台とする教育を、その根幹に据えていきたいと思います。

〈国際基督教大学高等学校キリスト教科教諭〉

（2面よりつづく）

◇中小規模学校法人の連携協力検討プロジェクト

中小規模学校は少子高齢化が加速する中で教育及び財務環境は大きな揺れ動きの渦中にあります。それら学校代表者が共通する課題理解と連携のための行動と対策を考えるプロジェクトです。コロナ禍により過去2回はオンライン形式となりましたが、今年度は対面の懇話会を実現し連携と協力のきずなを強めたいと思います。

◇教育同盟史資料整理

2010年の教育同盟100周年にあたって発刊した『キリスト教学校教育同盟百年史』の編纂関連資料や同盟事務局所蔵の史資料について、2019年からリスト・目録作成、保存、配架の作業が続けられています。

◇デジタルコンテンツの運用

《eラーニングによる教員免許状更新講習（2017～2022年）》

教員免許状更新講習のための受付け手続きと、「キリスト教学校教育の理解、及び児童生徒を取り巻く状況の変化について理解を深める」ための教育同盟独自の動画講座を制作しました。加盟校から多くの方にご利用いただきましたが、2022年6月末の制度廃止とともに講習も終了しました。

コロナ禍を経てオンライン会議や研修が増加した中、その記録を委員個人ではなく、同盟として管理保存・活用できるようクラウドストレージが設置されました。委員会担当者が閲覧・編集することができます。

キリスト教学校教育振興助成

キリスト教教育に関する教職員の学びを後押しするための制度です。下欄の記事「キリスト教学校教育振興助成のご案内」の説明と募集欄をご覧ください。

キリスト教学校教育懇談会

日本カトリック学校連合会と教育同盟が共同で会議や講演会を開催、カトリック校・プロテスタント校の枠組みを超えて教職員が集います。平和学、道徳の教科化、環境、グローバル教育などのテーマをともに学び考える講演会は20回を重ねています。

教職員就職支援

教育同盟の機関紙やHPに加盟校からお預かりした公募情報を掲載します。また、キリスト教学校での働きを希望する加盟校在学生・卒業生やキリスト教信徒・求道者を対象とした就職支援登録制度によって、新しい教職員を求める加盟校と登録者をお繋ぎします。

（下の「今年度登録について」もご覧ください。）

地区組織と活動

4つの地区組織にも部会があり、各地区・各部会独自の研修会等の企画実施に携わります。地区事務局は各地区の担当校内に設置されています。

地区主催の研修会等への参加は地区に申し込みをしていただくことになります。

◇東北・北海道地区

教育研究集会大学部会、同中高部会、新任教師研修会、教職員後継者養成プログラム

◇関東地区

大学部会、中高部会（カウンセリング研究会を含む）、小学部会（東日本小学校教職員協議会実行委員会）、聖書科委員会、中高教師研修会、音楽教育研究会、新任教師研修会、教職員後継者養成プログラム（志願者ガイダンス、学校体験・見学会）、災害支援連絡会議

◇関西地区

夏期研修会、大学部会研究集会、キリスト教学校校長会、新任教師研修会、カウンセリング研修会、カウンセリング担当者の集い、事例研究会、カウンセリング基礎研修講座、西日本小学校教職員協議会、教職員後継者養成プログラム（志願者ガイダンス、学校体験・見学会）、聖書科研修会、聖書科研究会、災害支援連絡会議

◇西南地区

夏期学校、校長会、事務長会、中高聖書科研修会、新任教師オリエンテーション、事務職員研修会、大学部会、中高部会、教職員後継者養成プログラム

教育同盟あれこれ

各種刊行物

教育同盟では戦前から聖書科の教科書・副読本をはじめ、様々な書籍や冊子を刊行してきました。現在も各地区編纂の『キリスト教Q&A』シリーズ、教職員後継者養成部会『キリスト教学校の教職員をこころざす人たちへ』の提供をしています。学内研修や授業にご活用ください。教育同盟加盟校名簿も毎年発刊しています。

教育同盟事務局って？

キリスト教学校教育同盟事務局は、新宿区西早稲田の小高い丘の上、日本キリスト教会館の7階にあります。事務局には事務局長と二名の事務職員がおり、全国的な活動に関わる業務に携わっています。研修や公募情報、冊子の購入ほか、不明なことがありましたらお問い合わせください。

◎キリスト教学校教育同盟は加盟校の皆様に支えられて活動を続けてまいりました。キリスト教に基づく、各校のよりよい教育活動や学校運営のため、教育同盟の研修や様々な制度を教職員の皆様にご利用いただければと願っています。

4月からの事務局の職員

（左）上戸（かんべ）（中）孫（右）小林

キリスト教学校教育同盟の活動についてはホームページでも詳しく説明されていますので是非アクセスしてみてください。スマホでも見られます。

2023年度キリスト教学校教育振興助成のご案内

教育同盟の事業の一つに「教育振興助成」制度があります。教育同盟が一般社団法人に移行した2016年にスタートした事業です。

キリスト教教育を広く振興するための諸事業、教職員の資質向上のための諸事業を活性化させ、支援する目的の制度ですが、外部の個人や団体にも開かれた公益事業です。詳しい募集要項は同盟HPに掲載中です。

2023年度の助成予算は昨年同様、上限60０万円といたします。

助成対象の分野は、

（1）キリスト教学校教育の研究集会・研修会・連絡会議出席の助成（法人・学校を通しての助成申請）

（2）キリスト教学校教育の調査研究の助成

（3）キリスト教学校教育の研究集会・研修会・講演会開催の助成

（4）その他キリスト教学校教育の振興のための助成

などです。

支給対象は、個人ないしは団体（グループ）、法人団体です。

助成金は、研究・調査費、研究集会等参加費・交通費・宿泊費、研究集会・講演会等実施に必要な運営費・消耗品費・謝金、印刷製本費等に充てることができます。

選考にあたっての主な基準は、

①研鑽領域が加盟校全体に還元されるもの、②小規模校で研究費等に苦慮している、あるいは研修会参加費の負担で苦慮している申請を優先しています。

過去3年間、コロナ感染拡大による研修会などの中止やオンライン開催により、応募が極めて少なくなりました。募集期間が短いために検討の時間が少なく申し訳ありませんが、今年度ぜひ多くの応募をお待ちしています。

坂田雅雄

〈横浜共立学園理事長、教育同盟助成選考委員長〉

一般社団法人キリスト教学校教育同盟 2023年度「キリスト教学校教育振興助成」の募集について

キリスト教学校教育を推進する研修・研究等への助成制度です。要項・申請書等詳細は教育同盟ホームページ（トップページ「お知らせ」）をご覧ください。

助成金＝総額600万円

助成選考日程（予定）

4月3日（月）募集開始

6月10日（土）助成申請締め切り

7月4日（火）助成先発表（HP）

第65回 小学校代表者研修会報告

同志社国際学院で開催

2023年1月13日（金）～14日（土）、新たな年のスタートに、同志社国際学院初等部において小学校代表者研修会が行われました。対面での開催は3年ぶりということで、参加した先生方と共に学びの時を過ごせたことは、何より感謝でした。

開会礼拝での吉田太郎先生（東洋英和女学院）の「すべては神のご支配の中にあり、神が共にいてくださることを信じて、闇を退ける光となっていく」などのメッセージは、力強く大きな希望と喜びに繋がるものとなりました。

一日目は、今年度、会の開催にあたり、中心となって企画運営をしてくださった委員長の佐藤慎先生（聖学院）、会場校校長である柳田昌彦先生（同志社国際学院）の挨拶の後、同志社国際学院初等部の教育についての紹介が行われました。

「良心教育」という建学の精神のもと、「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」を教育理念とし、ユニークな教育プログラムと豊かな教育環境が整えられていること・「国際バカロレア（IB）」の公式認定校として世界標準の初等教育プログラムを展開していること・探究的な学びにより創造性や論理性、思考力の向上を目指しているということ等、学びが多い内容でした。ビデオで見せていただいた子どもたちの姿からも、六年間でとても大きな成長を遂げていることが伝わってきました。

その後、各校一番の課題を報告し、情報を共有する場が設けられました。最後に校内を案内していただきましたが、随所にグローバルな教育環境づくりが施されていて、参考になることが溢れていました。

二日目は、「同志社のキリスト教とキリスト教教育」と題して同志社大学神学部教授 石川立先生が、創立者 新島襄先生の歩みや言葉に触れながら、同志社におけるキリスト教教育についてご講演くださいました。講演で提案された課題「キリスト教への無関心」「宗教アレルギー」の二点については、二分団に分かれて協議した後、全体会での報告を行いました。記憶に残るチャペルの時間を大切に／喜びとして聖書を読めるように／保護者が聖書を学ぶ場をつくり、保護者にも伝えていく／日々、祈りと賛美に触れていることに大きな価値があるなど、今後に活きる意見が数多く出され、共に考えることができました。

大変な社会情勢の中にあって、希望と喜びに生きるキリスト教学校として力が与えられるよう、茶谷信一 先生（北陸学院）の祈りをもって閉会となりました。

黒木佐幸

〈西南学院小学校校長〉

（初日）各校の紹介と情報共有

同志社国際学院初等部

公募

▽活水女子大学

▼国際文化学部日本文化学科

職種＝経営学分野　准教授、講師又は助教1名

採用予定日＝9月1日～

応募締切＝5月31日

問合せ＝☎095-822-4107

▽国際基督教大学高等学校

職種＝理科（化学）専任教諭1名

採用予定日＝24年4月1日

応募締切＝5月13日

問合せ＝☎0422-33-3401

▽横浜共立学園中学校・高等学校

職種＝カウンセラー　非常勤講師1名

採用予定日＝5月～

応募締切＝4月25日

問合せ＝☎045-641-3785

▽（学）青山学院

職種＝専任事務職員（新卒対象）10名程度

採用予定日＝24年4月1日

応募締切＝5月5日

問合せ＝☎03-3409-6018

2023年度キリスト教学校教職員就職支援登録について

教育同盟では、キリスト教学校で働くことに使命を感じて就職を希望する方のために「2023年度キリスト教学校教職員支援の登録」を受け付けています。詳しくはホームページ「教職員を目指す方へ」→「教職員就職支援登録について」をご覧ください。

登録者についてのお問い合わせは事務局までご連絡ください。なお、各校事務局長・事務長様宛に、個人名を伏せた登録者情報をご覧いただけるGoogleドライブのURLを4月上旬にお送りいたします。必要に応じて校内で共有をお願いいたします。

関東学院大学 関内キャンパス開校

関東学院大学は、これからの社会で活躍できる人材育成に向け、２０２４年に教育における社会連携を目的として、企業や自治体などへのワンストップ窓口として社会連携センターを開設しました。教室の中で学ぶ「理論」と、実社会をフィールドや題材とした「実践」の往復による教育モデルを「社会連携教育」と位置づけ、企業や自治体などと連携し、世代や肩書き、価値観、文化背景などが異なる多様な人々と協働しながら「実践」ができる環境構築を推進してきました。これまでは、横浜南部の２つのキャンパスを拠点に、教育・研究活動を行ってきましたが、社会連携教育を推進するにあたっては、交通利便性の点で課題がありました。そのため、利便性が高く、社会課題の多様性が豊富な横浜都心部への新キャンパス設置を構想し、２０１８年に「横浜市教育文化センター跡地活用事業」のプロポーザルに応募する形で、社会連携拠点となる新キャンパスを取得しました。

２０２２年10月に竣工を迎えた新キャンパスは、２０２３年４月に開校し、経営学部、法学部、人間共生学部、コミュニケーション学科の学生約３，３００名収容の学舎となるほか、全11学部の社会連携拠点としての活用を想定しています。新キャンパスは、地下１階、地上17階のうち、地下１階とエントランスフロアには、ブックカフェなどの商業施設、２階は６５４名収容のテンネー記念ホールとギャラリー、４階にコワーキング・オフィスを設置するなど、キャンパスの一部を市民に開放し、教育活動と社会が自然に交わり合う環境を構築しています。コワーキング・オフィスには、リエゾン機能をもったマッチング・オフィスを併設し、教育や研究における連携や接続がスムーズに行える体制を整えました。なお、学生の通常の礼拝は、毎週火曜日のお昼時間にテンネー記念ホールにおいて行う予定でいます。また、６階から８階のフロアは、用途に合わせて活用できる様に、多様な形状・特徴をもった什器を配置したラーニングコモンズが広がっており、新キャンパスを修学キャンパスとする学生だけでなく、すべての学部の学生が協働して学べる環境を整えています。

横浜港方面を臨む

1階カフェ Nathan-Coffee1884

7階ラーニングコモンズ

関東学院は、１８８４年に横浜・山手に創立された横浜バプテスト神学校を源流としていますが、創立の地に程近い関内地区へのキャンパス新設は、原点への回帰とも言えます。関東学院の校訓「人になれ 奉仕せよ」を実践するため、新たなキャンパスを活用し、これからの社会に「奉仕」できる人材育成をさらに推進していきます。

〈関東学院学院長〉　松田和憲

キリスト教教育者物語 ⑨⑥

細川泰子

盛岡大学

盛岡大学の創始者であり、学長であった細川泰子先生は、１９０６年に岩手県に生まれ育ち、最初は仙台市三島学園で被服・裁縫を学び卒業しました。しかし、当時、岩手県の乳幼児の死亡率が全国一で、高血圧症に悩む老人が多かったことから、被服より食生活の改善の重要性を痛感し、クリスチャンである細川泰子先生は、１９５１年にはすべての私財をつぎ込んで家政科と栄養科をもつ「盛岡生活学園」を開設しました。その後、幼稚園、高等学校、調理師専門学校、短期大学、さらに、１９８４年には、英米文学科と児童教育学科を持つ盛岡大学を新設しました。そして、日本文学科、社会文化学科、栄養科学部が更に増設されて現在に至っています。

細川泰子先生は、半世紀を越えて多くの苦労や絶望を経験されながらも聖書のことば「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。」（口語訳　テサロニケ人への第一の手紙５章16～18節）を生活学園のモットーとして教育事業に人生をささげられました。１９８９年に出版された随筆集『教育は愛なり』では、盛岡大学の教育理念について次のように述べておられます。

「盛岡大学は、キリスト教の精神を持って教養を身に着け、神の愛の高さ、深さ、広さを知り、人類愛に燃える奉仕のでき得る謙虚な人格の育成を重点にしております。時代は変転いたしますが、この精神はいかなる時代においても変わることはありません。教師と学生との出会いを重んじ、常に尊敬と信頼を深めることにつとめます。」

この細川泰子先生のキリスト教精神に基づく教育理念は、現在も盛岡大学において大切に継承されています。

〈盛岡大学宗教主任〉　小林みゆき

事務局だより

２０２３年度がスタートしました。同盟事務局は職員２名の交代で、小林早季子さん、上戸寧子さん、孫事務局長の３名体制となりました（写真３面）。業務の基本は変わりませんが、それぞれの持ち味を生かして励んでまいります。宜しくお願い致します。

今号は、新任教職員の視点に立って同盟の成り立ちと活動を出来るだけ分かりやすく紹介する特集号としました（１～３面）。各法人の建学の精神と理念を大切にしつつ、全国と地区の活動が、共通するキリスト教学校で働く皆さんの貴重な出会いと交流、研修に用いられるようにと願っています。

事務局長

<行事予定>

※現時点で９月までの計画分のみ掲載しています。

６／２～３	第111回定時総会	（八代学院、オンライン併用）
17	第68回東日本小学校教職員協議会	（青山学院初等部）
７／22～24	第67回事務職員夏期学校	（御殿場市・東山荘）
８／１～３	第10回中堅教員リトリート	（同志社びわこリトリートセンター）
７～８	第８回全国災害支援連絡会議	（九州ルーテル学院大学）
10～12	第３回教員リフレッシュ研修	（奈良県洞川温泉）
17～19	第56回全国聖書科研究集会	（捜真学院）
23～24	第13回中堅事務職員リトリート	（同志社今出川キャンパス）
25	第10回大学新任教員研修会	（オンライン）
９／１～２	第９回全国事務局長・事務長会議	（東北学院大学）
4	第67回大学部会研究集会	（オンライン）
8	第３回キリスト教活動担当事務職員研修会	（明治学院大学）
9	教研部会等委員長会議	（教育同盟事務局またはオンライン）
30	本部・地区事務局会議	（オンライン）

キリスト教Q&A

—キリスト教の理解を深めるために—

キリスト教学校では、なぜイースター（復活祭）をクリスマスのように祝わないのですか？

原田浩司

（東北学院 宗教センター主任 東北学院大学宗教部長）

毎年12月になると、それぞれのキリスト教学校では特別礼拝やコンサートなどを催してクリスマス（降誕祭）を盛大に祝います。それに比べて、春のイースター（復活祭）については行事らしい行事が行われていないのが実情かもしれません。ですから、キリスト教学校に通う生徒や学生たちでさえイースターについての理解を深める機会がほとんどないため、イースターを知らぬまま卒業していく生徒や学生たちもいるでしょう。

イースターはイエス・キリストの復活を記念するとても重要な記念日です。古代教会では、イースターが最大の祝祭日であり、この日に合わせて洗礼を受ける準備をしていました。キリスト教は、十字架によるイエス・キリストの受苦と死、そして、復活による永遠のいのちの約束と希望を「最も大切なこと」（コリント一15：３）として宣べ伝えてきました。使徒パウロが「キリストが復活しなかったのなら、わたしたちの宣教は無駄であるし、あなたがたの信仰も無駄です」（コリント一15：14）と断言するように、復活はキリスト教の教理と信仰にとって、まさに「肝心要」なのです。四つの福音書には、イエスの誕生について全く記録していないもの（マルコ）もありますが、四つともそろって丁寧かつ詳細に記述するのがイエスの十字架と復活の出来事です。

質問に戻りましょう。これほど大事なイースターがなぜキリスト教学校で祝われていないのでしょう。それは単純に学事暦の問題です。日本では新年度の開始が４月です。３月下旬から４月上旬までが卒業と入学のシーズンとなり、イースターはまさにちょうどその慌ただしい時期と重なります。しかも「12月25日」のように、イースターには固定した日付がなく、毎年変動し、３月のときもあれば４月のときもあります。日付の選定は「春分の日を過ぎて、最初の満月を迎えた後、最初に迎えた日曜日」という、ややこしい基準となっています。

キリスト教学校がクリスマスのように行事として催しを実施していないからといって、イースターを軽視しているわけでは決してありません。別れと出会い、卒業と入学という、春の節目のシーズンを迎えて、一人ひとりがこれまでの自分から新しい自分へと脱却し、成長の転換点となる入学式は、まさに復活のキリストの恵みと神の永遠のいのちの力に支えられて行われます。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！